

競技方法

<競技方法>

(1) リーグ構成

男子は、2021年度関東学生水球リーグ戦の結果に基づき、上位8チームを1部、それ以外のチームを2部とする2部構成とする。

女子は、参加チーム数に応じて構成を決定する。

前年度参加チームの不参加が事前に確認できた場合は、不参加チームの下位のチームの順位を繰り上げる。不参加チームが次年度若しくはそれ以降再び参加する場合は、全参加チームの最下位に位置付ける。

(2) 試合形式

男子1部については、2021年度学生リーグ順位を適用し8チームによる1回戦の総当り戦を行い、さらに上下4チームによる順位決定トーナメントを行う。

男子2部については、2021年度学生リーグ順位を適用しABの2グループに分け予選リーグとして各組5チームにて1回戦の総当り戦を行い、さらに上位4チーム、下位6チームの襷掛戦による順位決定を行う。

各リーグ最終順位決定後、1部7位と2部2位、1部8位と2部1位が1回戦の入替戦を行い、その結果に基づき次年度のリーグ構成および第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権獲得チームを決定する。

女子については、2021年度学生リーグ順位を適用し6チームによる1回戦の総当り戦の後、順位決定トーナメントを行う。

試合時間はすべて8分×4P（インターバル2分、3分、2分）とする。

(3) ゲーム形式

勝ちを3点、引き分けを1点、負けを0点とする勝点制により順位を決定する。

2チームの勝点が同点の場合は、対象チームの直接対戦成績により順位を決定する（タイプレークシステム）。直接対戦が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合は、主将トスによる抽選で順位を決定する。

3チーム以上の勝点が同点の場合は、対象チーム間の対戦結果で順位を決定する。まず対象チーム間の勝点、次にコールドゲーム数、その次に得失点差、そして総得点を比較する。このとき、対象チームが2チームに減った段階で、上記②を適用する。それでも3チーム以上が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合、抽選によって順位を決定する。

順位決定戦・入替戦において第4ピリオド終了時に同点の場合は、（公財）日本水泳連盟水球競技規則に則りペナルティシュート戦にて勝敗を決定する。

いずれの試合も15点差がついた時点でコールドゲームとし試合を終了する。

ただし、第2ピリオド終了までは実施する。

試合不成立の場合は、不参加または失格したチームを0対15にて不戦敗（コールドゲーム）とする。

競技方法

(4) 第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権

男子は本リーグ戦の入替戦後の順位の上位5チームを、第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権獲得チームとする。ただし、第97回大会上位4チーム(シードチーム)を除く。関東支部の場合は開催支部枠が1枠を与えられる。

女子については本リーグ上位2チームを出場権獲得チームとする。ただし第97回大会上位2チーム(シードチーム)を除く。

(5) 組合せ

申込締切後、事務局より各チーム宛に連絡する。

<グラウンドルール>

ベンチには6名までの交代選手、監督1名、コーチ・チームオフィシャル2名が入ることが出来る。監督・コーチ・チームオフィシャルは本部にて交付される役員証を着用の上ベンチ入りすること。監督は正装・チームユニフォーム等品位ある衣服を着用すること(襟付きシャツ、長ズボン)。

メンバー表は、試合開始60分前までに本部席に提出すること。メンバー表にはベンチ入りする監督名を記入すること。

帽子は組合せ表の左側のチームを白、右側のチームを青とする。他の色の帽子の着用を希望する場合はメンバー表提出時に本部席まで申し出、承認を得ること。その場合、帽子と同色のセクレタリー用の旗を一本用意すること。

ベンチサイドは、本部席から見て左側を白チーム、右側を青チームとする。

招集は試合開始15分前に行う。選手はメンバー表通りの帽子を着用し招集を受けること。招集時に不在の選手は当日の試合に出場することはできない。招集時7名未満のチームには、責任者(監督・コーチ・キャプテン)に当該人数での試合実施の是非を確認する。

棄権する場合は、当日の第一試合開始30分前までに、所定の用紙に必要事項を記入して本部席に提出すること。時間を過ぎた場合は、棄権料10,000円を徴収する。

チームの水着は同一の生地・デザイン・色とする。

競技役員・補助役員(3名)派遣他定められた役務を全うしないチームは失格扱いとすることがある。

ウォーミングアップは会場毎定められた場所、時間にて行うこと。

会場内でカメラ・ビデオ等の撮影を行う場合は、本部席にて撮影許可証の交付を受けること。

上記の他は、(公財)日本水泳連盟水球競技規則、及び水球一般規則に従う。

<表彰>

(1) 男子各部及び女子の上位3チームを表彰する。

(2) 男子各部及び女子の最多得点者を表彰する。

リーグ構成

<2022年度リーグ構成>

(男子1部)

- 1位 日体体育大学 ※
- 2位 明治大学
- 3位 筑波大学 ※
- 4位 早稲田大学 ※
- 5位 専修大学
- 6位 中央大学
- 7位 慶應義塾大学
- 8位 成蹊大学

※第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>シードチーム

(男子2部)

- 1位 日本大学
- 2位 国際武道大学
- 3位 順天堂大学
- 4位 東京大学
- 5位 学習院大学
- 6位 東京工業大学
- 7位 上智大学
- 8位 一橋大学
- 9位 成城大学
- 10位 防衛大学校 (不参加)

(女子)

- 1位 秀明大学 ※
- 2位 日本体育大学 ※
- 3位 東京女子体育大学
- 4位 早稲田大学
- 5位 国土館大学
- 6位 新潟産業大学

※第98回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>シードチーム